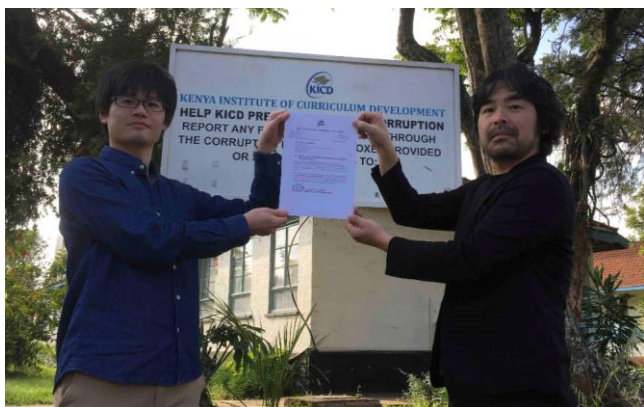


キャストリア(株)がケニア国で快挙！

同社のプログラミング教材をケニア国教育省が公式教材として採択

昨年度第2回の中小企業・SDGsビジネス支援事業（「基礎教育における初学者向けプログラミング教育に関する案件化調査」）に採択されたキャストリア株式会社（本店：長野県塩尻市、本社：東京都港区、以下「キャストリア」）は、これまで現地で調査活動を行ってきましたが、この度2020年1月30日付けでケニア国教育省傘下のケニア・カリキュラム開発機構（KICD）より、同国のプログラミング教育に特化した教科書・教材としてキャストリアが発行するプログラミング教材（CodePower）が正式に認可を受けました。

ケニアでは2020年度（2020年1月開始）より、公教育において初等学校（日本での小学校に相当）の4年生から「科学」の授業のなかの項目「デジタルテクノロジー（全12回）」にプログラミング（Coding）5回分が新たに加えられ必修化されました。すでに主要な「科学」の教科書でもプログラミングの部分は追加されていますが、プログラミングに特化した教材としてはCodePowerが初の採択となります。また教員向けには同社のモバイルラーニングプラットフォームにCodePowerの教授法をモバイルコンテンツ化して提供することも予定しています。



写真説明：

ケニア国ナイロビ市で教科書審議会からの認可通知書（写真右）を受け取ったキャストリアの代表取締役山脇氏（右）と制作責任者の横川氏ディレクター（左）

ケニアにおける初等学校の数は37,910校（公立24,241、私立13,669）、児童数は1054万人に上り、今後も若年層を中心に人口増加が加速しています。同時に若年層における雇用確保が大きな社会問題にもなっており、将来における人材育成が国家的課題になっています。

このような背景の中でケニア国政府は教育省を通じて2018年より21世紀型教育の導入を進めてきました。アフリカではルワンダに続きプログラミングを必修科目とする二番目の国になります。今後、同社の教材が広く現地で使われるようになるとともに、この教材を通してケニアのプログラミング教育が盛んになり、同国の人材育成にも寄与することが期待されます

URL : <https://www.jica.go.jp/tokyo/press/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 市民参加協力第一課 押山（案件担当）

TEL 03-3485-7680 e-mail : jicatokyo_sme@jica.go.jp